

2020 年度第 3 回支部集会【中国地区】

ウィズ/アフター・コロナ状況下での 地域日本語教育について考える

日時：2020 年 10 月 24 日(土) 13:30 ~ 16:00

会場：オンライン開催 (Zoom)

参加費：無料 (要・事前申込) 定員：150 名

事前申込フォーム URL

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeGtEdqXC6AtIJJP_T1IS938zzcv0wk0DYUQIGraH4QQabjZw/viewform?usp=sf_link

【優先受付】9 月 16 日(水)10:00~

(中国支部エリアに在住または所属している方)

【一般受付】9 月 23 日(水)10:00~

* 定員になり次第締め切ります

(敬称略)

13:30-15:40 **パネルディスカッション** 司会：永田良太 (広島大学)

事例紹介①：岡山県総社市の取り組み

福武幸一・黒瀬啓介 (総社市役所)、中東靖恵 (岡山大学)

事例紹介②：島根県の取り組み

仙田武司・岩田和美 (公益財団法人しまね国際センター)

15:40-16:00 **交流ひろば**

多読学習材としての読み物作成と公開の方法 - ウェブ無料公開の読み物拡充を目指して -

吉川達 (佐賀大学)・門倉正美 (横浜国立大学名誉教授)・佐々木良造 (静岡大学)

【主催】公益社団法人日本語教育学会

【問い合わせ先】公益社団法人日本語教育学会支部活動委員会 電話 03-3262-4291 E-mail shibu@nkg.or.jp

【プログラム】(当日のスケジュール予定です。変更する場合もございますのであらかじめご了承ください)

- 13:00-13:30 受付 (Zoom ミーティングルームオープン)
- 13:30-13:40 開会あいさつ
- 13:40-13:50 趣旨説明
- 13:50-14:40 パネルディスカッション:
- 14:40-14:50 休憩
- 14:50-15:40 全体の質疑応答、全体ディスカッション
- 15:40-16:00 交流ひろば
- 16:00 閉会

【パネルディスカッション】

「ウィズ/アフター・コロナ状況下での地域日本語教育について考える」

司会：永田良太（広島大学）

事例紹介①：岡山県総社市の取り組み 福武幸一・黒瀬啓介（総社市役所）、中東靖恵（岡山大学）

事例紹介②：島根県の取り組み 仙田武司・岩田和美（公益財団法人 しまね国際センター）

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響で、私たちの日常は大きく変わりました。対面によるコミュニケーションが制約される中で、「オンライン」が注目を集めるようになりました。依然として終息の見通しが立たず、感染拡大防止が求められる状況において、地域の日本語教育も従来とは異なるあり方が模索されています。今回のパネルディスカッションでは、新たな取り組み事例をもとに、ウィズ/アフター・コロナ状況下での地域日本語教育における「オンライン」の可能性を探るとともに、そこから見えてくる「対面」の意味についても、改めて問い直したいと思えます。

【交流ひろば】

「多読学習材としての読み物作成と公開の方法ーウェブ無料公開の読み物拡充を目指してー」

吉川達（佐賀大学）・門倉正美（横浜国立大学名誉教授）・佐々木良造（静岡大学）

私たちは日本語学習者の多読のための読み物を作成し、ウェブ上で公開しています。コロナ禍では、ウェブ上で自由に読める読み物の重要性は増していますが、その数は十分ではありません。本展示では、私たちが進めている読み物拡充のための取り組みを紹介して趣旨に賛同してくださる書き手を募るとともに、多読について情報共有・意見交換をしたいと思えます。

※「交流ひろば」につきましては、参加申込みいただきました皆様に 10 月 19 日頃に事前に「交流ひろば」に関する資料をお送りします。そちらを事前に各自ご覧いただき、ご質問等を受け付ける他、当日はオンライン上でみなさんと出展者で意見交換を行います。

※当日は遠隔会議システム Zoom を使用予定です。各自 Zoom が使えるパソコンやタブレットおよび通信環境をご準備ください。詳細は参加者のみなさまに後日お伝えします。